

委員会審査

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 移動式トイレトレーラー、避難所用スポットクーラー、災害対策用電気自動車の保管場所や平常時の活用予定は。

答弁 トイレトレーラーはイベント等への貸し出しを想定しており、保管場所は検討中である。スポットクーラーは、避難所の開設頻度が高い井野川周辺の小学校への設置を予定している。また電気自動車は、共用公用車として平常時にも利用することを考えている。

市民経済常任委員会

質疑 高崎だるまミュージアム（仮称）基本構想策定の予定と委託先は。

答弁 令和6年度は、検討会議等の意見を踏まえたコンセプトを反映した計画を、群馬県達磨製造協同組合などと連携して策定したいと考えている。また、現時点で委託先は決まっていないが、適切に対応できる業者を選定したい。



高崎だるまのさらなるPRを

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 児童相談情報管理システムの内容は。

答弁 児童相談所の開設を見据えて導入する予定のシステムで、子どもの相談情報を登録し、帳票作成や個別ケースの進行管理等を行うものであり、虐待に関する情報把握の迅速化や情報共有を図ることができる。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 労使会館建設事業について、令和6年度はどのような工事を予定しているか。

答弁 現在は基礎工事を行うための掘削工事を行っており、引き続き基礎工事や鉄骨工事、内装・外装工事を進め、令和7年3月末の竣工を目指している。

教育福祉常任委員会

質疑 障害児通所給付費が令和5年度から約6億円増額した理由は。

答弁 近年利用児童が増加して実績が伸びていることや、令和6年度の国の報酬改定により費用の増加が見込まれることが増額の主な理由である。

質疑 給食室空調設備設置事業について、これまでの設置状況と令和6年度の設置予定は。

答弁 これまで26カ所に設置しており、令和6年度は4カ所に設置する予定である。

建設水道常任委員会

質疑 令和6年度の大規模盛り土造成地の調査は。

答弁 盛土規制法との調整や、危険箇所総点検に併せて盛り土造成地内の擁壁調査を実施する。

質疑 橋りょう長寿命化事業の内容は。

答弁 本市が管理する橋りょうの安全・安心の確保と維持管理費の削減、平準化を目的としており、令和6年度は高崎駅西口のペDESTリアンデッキ等の点検や修繕計画の策定のほか、浜尻陸橋の補修工事を行う予定である。

環境施設建設特別委員会

質疑 既存の高浜クリーンセンターを解体した後の跡地の整備予定は。

答弁 新施設の建設地に元々あった野球場のほか、地元から要望がある温水プール等を整備していく予定である。

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 高崎市の学校給食における地場農産物使用率の目標達成を求めることについて



人・農地プラン

農業者が話し合いに基づき、地域農業を担っていく農業者、地域農業の将来の在り方などを明確化し、市町村が公表するもので、平成24年に開始された。

地選定の理由は。
答弁 高崎駅周辺はマンション整備が進み、首都圏からの移住者が増え、徒歩や自転車で行動する人が多く見受けられる。近隣の子育てでなくてもセンターと連携しやすく、託児だけでなく育児などの悩み相談も受けやすいため、当該地に整備する方針とした。

質問 建設費約6億7700万円の烏川レストハウスについて、通常は建設工事前に赤字にならないか検討すると思うが、業務委託料300万円で作成した事業計画書の中で収支計画はどうなっているか。
答弁 収支計画については、現在進めているレストハウスの設計の成果を踏まえながら、今後算出を行いたい。

高松地区がわまちづくりレストハウス
子育て支援策

宮原 綾香
(たかさぎ未来)

質問 地域計画の策定はどのように進めていくのか。
答弁 策定に当たっては、まず地域住民を含む幅広い関係者同士で、将来の土地利用の予定などを協議することが重要となる。本市では、一定規模の農地を所有または耕作している農業者に対し、10年後の耕作の意向について農地1筆ごとに確認する調査を実施しており、令和6年度に開催するよう協議の場で現況を示せるよう準備を進めている。

質問 人・農地プランと今後策定する地域計画の違いは。
答弁 地域計画は人・農地プランが法定化されたもので、令和7年3月までに策定する必要がある。市が農地の現況地図を基に、10年後の農地の利用者を記した目標地図を含め、地域農業の将来の在り方を定めた計画案を作成し、関係者からの意見聴取や公告等手続きを経て策定する。

人・農地プランと地域計画

青木 和也
(新風会)

質問 中島町の下水道整備の状況は。
答弁 現在、中島団地の生活排水は団地内の管理組合による集中浄化槽で処理を行っている。団地内の下水道整備としては、令和6年度に集中浄化槽の流入付近まで整備を行い、公共下水道への切り替えが可能となる予定である。公共下水道へ接続されると、集中浄化槽の維持管理が不要となり、より快適で衛生的な生活環境が確保される。

質問 市全体および滝川地区の下水道整備の状況は。
答弁 本市では各地域の下水道事業計画区域において、順次上流側へ整備を進めている。滝川地区は、県央水質浄化センターで処理を行う県央処理区のエリアで、県が管理する下水道幹線の接続箇所から整備を進めており、令和5年度は中島団地南側において整備を実施している。

滝川地区の下水道整備

渡辺 隆宏
(新風会)

同意した人事案件

- 副市長
ひょうどう 兵藤 公保
そね 曾根 光広
- 人権擁護委員候補者
ながの 長野 信道
よこた 横田 公一
ほりぐち 堀口 理恵子
みやざわ 宮澤 哲哉
- 固定資産評価審査委員会委員
いだ 井田 登代二

選挙された選挙管理委員及び補充員

- 選挙管理委員
たつの 田角 悦恭
すかわ 須川 浩
いしだ 石田 武津代
かたがい 片貝 喜一郎
- 補充員
ふかさわ 深澤 啓二
きむら 木村 よしあき 純章
しまづ 島津 ひろこ 弘子
はらさわ 原澤 えいこ 英子